

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カリス		
○保護者評価実施期間	R8年 5月 7日 ～ R8年 5月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	R8年 4月 20日 ～ R8年 4月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 6月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの変化に気づき、ていねいに対応すること心がけています。	朝のミーティング時に、前日の子どもたちの表情や言動などで気になった子を中心にスタッフ間で情報共有を行っています。どのように関わったり、サポートしたら良いのか、意見を出し合っています。	必要に応じて、保護者の方に連絡し、お子さんの様子をお伝えしたり、計画相談員さんへ情報共有しながらサポート体制を整えた上で支援できるよう努めています。
2	母の日、父の日、敬老の日など行事を大切にしながら親御さんへ渡す工作づくりをしています。	まずは、〇月〇日は〇〇の日という行事を学ぶことを大切にしています。工作が苦手な子も得意な子も大切な人へ、まずは自分の力で作ってみて、難しい箇所は支援員がお手伝いして完成できるよう努めています。	勤労感謝の日には、子どもたちみんなで力を合わせて作品を製作しています。（ちぎり絵など）完成した作品は、日頃お世話になっている近所の公園の管理事務所の方や車屋さんへ子どもたちと一緒に渡しに行っています。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の放課後学童クラブや児童館、地域の子どもと活動する機会を持つことができていません。	村内の離れた場所には何か所か放課後学童クラブがありますが、近くに学童クラブや児童館がないため、交流の機会がもてていません。	利用している児童、生徒の兄弟が通っている放課後学童クラブや児童館クラブの子どもたちと、まずは交流できる機会を検討していきたいと思います。
2	専門職員が少ない点	専門的な技術が不足していることや、専門職の確保が難しいことがあげられます。	スタッフ一人一人が、様々な研修に参加する機会を増やすことで、質の向上に努めていきたいと思います。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 カリス

公表日 R8年6月12日

利用児童

数 R8年6月12日 20名

回収数 12名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	2		1	・隣りが公園でGOOD! ・もう少し広いとなお嬉しいで す。	ありがとうございます。 お部屋がもう一部屋ほしいなと感じ ております。室内は限られたスパー スではありますが、室内活動の際 は、テーブルを壁際に片付けたりす るなど、部屋を広く使用できるよう に工夫しています。広く使いたい場 合や、体を動かす活動の際は、中城 公園をお借りしてのびのび活動がで きるように工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっ ていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に 応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になさ れていると思いますか。	9	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると 思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となってい ると思いますか。	12					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門 性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1			・モニタリング時、カリスでの子 どもの様子や、どのようにサポー トしているか等を聞けてとてもい いです。 ・手あつい支援が受けられて、と ても感謝しています。	ありがとうございます。 ・今後も、カリスでどのようにお子 さんが過ごしていて、どのようなサ ポートをしているのかモニタリング 時や送迎時などにお伝えできるよう に努めてまいります。 ・今後てもいねいなサポートができ るように努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する 支援内容と合っていると思いますか。	10	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題 が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個 別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイ ドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の 「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内 容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上 で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					個別支援計画書の様式や作成の仕方 が変わりました。支援目標に「本人 支援」「家族支援」「移行支援」は 必要とされているため設定し、支援 内容は、その子その子に合わせて具 体的に記入し作成させていただいて おります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	12					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されてい ると思いますか。	12				毎月スケジュールをいただくの ですが、毎日活動のプログラム が違い、子どもも楽しみにしてい ます。	ありがとうございます。 これから、子どもたちを楽しみな がら学んでもらえるような、工夫を していきたいと思っています。

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1		1	3事業所合同のウォーキングイベント、先生方や親、子の交流があつていいイベントでした。	ご参加ありがとうございました。 ・3事業所合同で開催しているイベント（保護者会を含む）は、年に1度開催しております。今後も楽しい企画を考えていきますので、またご参加よろしくお願い致します。 ・まだ実現できていない、地域の児童館の子どもたちや、学童を利用している子どもたちとも長期の休みなどに交流ができればいいなと考えております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					契約の際に、運営規定、利用者負担など説明をさせていただいております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1		2	去年は、「性」の講演会へは参加できずにいましたが、ネットの情報より、実際聞いたり相談し合ったりできる場があつてとても助かります。	去年は、和田なほさんをお招きして「性」についての講演会を開催いたしました。今年も外部の講師をお招きしての講演会などをありましたらお知らせをさせていただきますね。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	5		1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1			・連絡帳のやり取りをもう少し工夫して欲しい。せっかく良い手帳を使っているのに…、と少し残念です。	連絡帳、いつもお休みする日や本人の様子などを記入していただきありがとうございます。こちらが確認を忘れてしまうこともあり申し訳ありません。 本人が自ら連絡帳を提出できるように声かけを増やしながら、カリスも連絡事項の確認がしっかりできるよう努めていきますので、よろしくお願いいたします。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	1	・連絡体制等の情報⇒みやすく分かりやすかったです。 ・合同会社パステルのHPでカリスを見ました。日頃、子どもたちを見てもらって忙しい中、月別アーカイブまで準備していただいているようですが、日々のお便り帳もていねいに書いていただいています。両方は負担になると思うので、アナログかデジタルのどちらか一方のほうが職員が子どもたちとの時間に専念できるのではないのでしょうか。	HPを御覧になっていただきありがとうございます。また、お間違いありがとうございます。 パステルのHPはできあがりでしたが、記事などの記載はまだこれからといったところです。業務の負担にならないように、また子どもたちとの時間も長くとれるように努めていますね。（今のところ、連絡帳に関しては、今の連絡帳が終わり次第、引き続き継続したい方のみ連絡帳を継続させていただいている状況です。ご連絡、ご相談などはLINEや電話の方で対応させていただいています。）
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			2	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1	・そのような事柄がないのでわかりません。 ・事故や怪我が起きた際には、迅速な行動ができるように心がけております。
満足度	m	こどもは安心感をもって通所していますか。	12				・夏休みも冬休みも楽しみに通っています。 ありがとうございます。 長期の休みは、普段できない活動などを増やして、楽しく学べるように努めています。新しいことを少しずつ取り入れながらも、安心して過ごせるようにサポートしていきますね。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				・平日も、もちろんですが、親が仕事でなかなか連れて行けない場所へ行けるのが楽しいようです。 ありがとうございます。 長期の休みは、日頃行くことができない場所へおでかけしたり、体験したりする機会を増やしています。今後も楽しく過ごせるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		カリス					公表日		R 8 年 6 月 1 2 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環 境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・小学生・中学生の人数をみながら机を移動したりと工夫している。	もう少し部屋が広い方が、子どもたちも広々と活動や遊びができると思うため、部屋の配置など検討していきたい。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		・十分な配置人数です。 ・適切です。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	・柱（サッシの部分）が危険なので、クッション材などを巻いて工夫しています。	・段差があるため、車椅子の利用者には適していない箇所があります。（現在、車いすの方は利用されていません） ・指導訓練室の間に段差があり適切ではない箇所もあります。（バリアフリー化が必要）				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・活動時や自由遊びの時は、テーブルを壁側に寄せて片付けをし、部屋を広く使える工夫をしています。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・体調がよくない時、休みたい時は静養室で過ごせるように対応しています。 ・個別の部屋はないですが、子どもたちが気持ちを落ち着かせたい時は、一緒に外に出て散歩をしたり、気分転換するよう工夫しています。	・静養室は設けていますが、個別の空間ではないと思うので、仕切り（カーテン）などを使用して工夫していきたいです。				
業 務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2		・PDCAサイクルに広く職員が参画しているとはいえないため、より多くの職員が参画できるように努めていきたい。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・保護者の方から記入していただいた点などを一つ一つ実現できるように心がけています。（保護者会を開催できていなかったのですが、年に1度は開催できるようになってきました）	・業務改善に繋がられる所は繋げていきたいと思っています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・朝の職員間のミーティング等で、職員より意見を出してもらえるように努めています。 ・より良い方法を話し合いながら改善に繋げる努力をしています。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・外部の第三者による外部評価は行っていないため、今後検討していきたいと思っています。 ・外部の評価を職員間で共有し、受け入れながら改善に繋がってきたいと思っています。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・職員の専門的知識の向上を目指しています。 ・年に数回、外部の研修も案内があった際には受講しています。					
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・支援プログラムを作成し、公表することができています。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・モニタリング等で子どもの課題や保護者の方のニーズを受け止め、その内容を踏まえた上で、放課後等デイサービス計画を作成しています。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・職員間で個別支援会議を行い、子どもたちの良い点、気になる点を話し合い目標や支援内容の検討を行っています。					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・職員間でも、モニタリング前に個々について話し合い、共有している。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・支援計画と照らし合わせながら、客観的な評価と、実際の様子をみた評価を行っています。					

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・その子、その子に必要な支援内容を具体的に記入して作成するよう心がけています。 ・支援目標に「本人支援」「家族支援」「移行支援」は必要とされているため、組み込みながら設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・職員間で、ローテーションをしながら、月1回活動予定表を作成しています。 ・朝のミーティングで活動を確認し、職員全体で把握しています。（準備等はスタッフで協力しながら行っています。）	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・ローテーションで、月1回担当を決め、固定化しないように、前月の確認をしながら作成しています。 ・いろいろな活動を取り入れるように工夫しています。 ・子どもたちの多くが慣れるまで、固定して行っていたほうが良い活動と変えて行った方が良い活動の両方を取り入れています。 ・当番制で常に新しい活動を提案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・集団活動や必要に応じて個別活動も組み合わせながら放課後等デイサービス計画を作成しています。その内容に沿った支援にも取り組んでいます。 ・活動内容によって、苦手な活動の内容で参加できない子に関しては無理のないように見学をしてもらっています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・毎朝のミーティング時に、今日の活動内容を周知して、スムーズに行えるようにしています。 ・朝に行われるミーティングで情報共有を行っています。 ・長期休暇時は、共有する時間を確保するのが難しいため、合間の時間で行ったりしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・終了後には振り返りができないので、翌日のミーティングで振り返りや報告を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・日誌でその日の出来事の記録を行い、改善ができるようにしています。（子どもたちの変化を中心に記録しています） ・ミーティングでも気になっている子の情報を共有し、その内容を話しあったうえで改善につなげる努力をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・モニタリングの時間を設けて、その子の今の課題にあっているかを確認しながら見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	1	4		・複数組み合わせることはできていないので、今後取り入れていきたいと思っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・アドバイスなどする際は、2つほど選択肢を与えて、最終は本人が決めることができるよう努めています。（特に中・高生には） ・個々の状況に合わせながら、気持ちを聞き出し、自己選択ができるように工夫した声かけを行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・担当者会議等は、基本児童発達支援管理責任者が参加させていただいています。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・利用している子どもたちが通っている、保育園や学校などの先生方とは連携を図りながら、サポート体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・学校へのお迎え時に、支援クラスの先生や担任の先生などとお話する時間がある時は、情報共有するように努めています。 ・子ども達のお手紙や学校のスクリレなどを確認し、下校時刻などを把握しています。 ・変更がある場合などは、学校や保護者に連絡するなど工夫しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・就学にあたって、お子さんや、保護者の方の不安もあるため、保育所の担任の先生を含め、担当者会議を行っています。 ・情報共有や支援の方法などのアドバイスをいただいたり、相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・高校等を卒業する際には、障がい福祉サービス事業の担当の方、学校の先生方も含めて担当者会議を行っています。デイでの本人の様子や支援内容をお伝えして、引継ぎを行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	・児童発達支援センターとの連携ではないですが、特に困難ケースの場合は、子どもたちが通っている病院の医師や心理士さんよりスーパーバイズなど、助言をいただきながら支援を行うこともあります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		・長期の休みなどに、放課後学童クラブや児童館の子どもたちと交流したいと思っていますが、なかなか実現できていない現状です。検討して、交流していきたいと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		自立支援協議会へは積極的に参加することができていないため、今後は参加できるように努めていきたいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・子どもたちの状況で気になることがある際は、送迎時やお電話（連絡帳へ記載する）などで保護者の方にお伝えするようにしています。	
保護者へ	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	・家族等が参加できる研修の情報提供を行っています。 ・ペアレント・トレーニングは行っていないが、子どもたちへのカリスでのサポートの仕方などをお伝えしています。	ご家族が参加できるような研修などの情報提供を、今後はお知らせすることができればと思っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に丁寧に説明をさせていただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・モニタリングなどで保護者の思いや、こどもたちの気持ち、今の状況家庭での状況などの確認しています。 ・こどもたちや家族の思いや気持ちを大切にしながらサポートさせていただいています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・保護者の方に支援内容を説明させていただいています。（お子さんにこのようなサポートをさせていただいていい吗という内容のお話をしています。）	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・ご相談などがある際には、お電話でお話をしたり、直接お会いしてお話を聞いた上で、アドバイスをさせていただいています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5		年に一回、三事業所合同で、保護者同士で交流する機会を設けています。（餅つき、ウォークラリーなど）	

の 説 明 等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・児童発達支援管理責任者・管理者などの職員全員で話しあい、対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・毎月の予定表は、月末に保護者へ配布しています。 ・お知らせ（台風時のお知らせ、夏休みのイベントのお知らせ）などはLINEも使用しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・児童・生徒のファイルなどは鍵のかかっているキャビネットに保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・必要に応じて、子どもや保護者の間に入らせていただき、お互いの気持ちを聞いたり、お伝えするお手伝いをしています。（特に思春期のお子さんに対しては職員には話せるが、保護者の方には話す機会が減っているということもあるため）	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		・地域の公民館などをお借りしたり、自治会町さんとやりとりはしているのですが、地域の方などをご招待することはできていないため、地域の方との関わりを深めていきたいと思っています。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・年に二回、避難訓練は必ず行っています。（不審者・火災・地震の訓練など） ・感染症や地震などがあった際の手順は、LINEでお伝えすることがあります。	・全てのマニュアルを保護者の方に周知することができていないため、職員や保護者の方に周知していけるよう努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・避難場所に歩いて行く練習や、災害が起こった際の態勢の取り方の勉強をしています。 ・年に2回、非常災害に備えて避難訓練を実施しています。 ・公園へ行く際に、2列に並んで歩く練習もしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	2	・契約時に確認を行っています。（直接お聞きしたり、フェイスシートへの記入など）	・服薬や予防接種などの把握はできていないので、今後は確認していきたいと思います。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・アレルギーのある子は把握し、おやつ時など気にかけています。 ・保護者にアレルギーの有無を確認しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・子どもたちの安全に気をつけながら支援を行っています。 ・避難訓練、車両点検などを行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハット事例があると、その都度ミーティングで報告を行っています。 ・ヒヤリハットファイルを準備しており、小さな事例でも記入をして記録を残すようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・虐待防止に関する研修を、合同会社バステルの3事業所合同で行う年もあります。 ・外部講師を招いて研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・契約時に保護者の方へ（重要事項説明書の）説明させていただいています。 ・重要事項説明書にも記載をしており、保護者の方と読み合わせを行っています。	